八甲田山

酸ヶ湯～高田大岳スキー

２００９．５．４（晴れ）
メンバー：L 菊地、奥平、神戸

地獄湯ノ沢

今日で八甲田３日目、酸ヶ湯温泉からシールで登る。やはり景色を楽しみながら少しずつ高度を稼ぐのは心地よい。こちらも標識が整備されていている。夏道とおりに暫く尾根をトラバースし沢を登って行く。

沢に入ると硫黄の臭いが強烈だ。途中に看板があったが地獄湯の沢と言うらしい。上部で流れが出ていて僅かにスキーを担いだが、すぐスキーを履けるようになり、たちまち仙人岱ヒュッテのある広い平原に出る。ここで木に引っかかった風船を発見。街から飛んで来たのだろうか？一つ拝借し、目前の小岳の登りにかかる。かなり上まで雪田を拾いながらスキーで上がれるが、山頂付近は雪が無く担ぎになる。下りはブッシュの出た西面とは違い快適な雪面が続いていて、せっかくなのでシールを剥がして滑った。

コルからは高田大岳まで高度差約２７０ｍの登り返し。こちらも雪を拾いながらナメクジ戦法に出るが、最後は雪の無い夏道となり担ぐ。夏道とは言えども這い松が腰位まであり、スキーを背負っているとうっとうしい。風船をくくり付けた神戸さんも割らない様に大変そうだ。

尾根が平になり山頂かと思いきや、山頂は更に南東に進んだ場所にあった。３６０度のパノラマで素晴らしく、南八甲田も魅力的だ。ゴールの谷地温泉は見えるが、滑る予定の南東斜面所上部はブッシュに阻まれ見えない。昨日、下の道から雪渓の状態は確認してあったの

高田大岳南東斜面

ので、見当をつけ夏道からトラバースして雪渓上部に出た。滑走準備をしていると、小岳で会った人達が南東斜面を登り返して来た。箒場岱に降りたかと思っていたが、高田大岳を回り込んで登り返して来た様だ。下を覗くとやはり良い斜面でワクワクする。あっと言う間に美味しい部分は終わってしまったが、神戸さんは風船なびかせながら、奥平さんはアクロバティックな滑り!?で大斜面を満喫していた様だ。

小岳と大岳をバックに

　緩やかな裾野に出ると９７４ｍピークを巻き気味に南へと進路をとる。そのまま谷に入ると滝があって厄介そうだ。やや樹の多い斜面を滑って行くと昨日浸かった谷地温泉の裏手に出た。温泉が沸いている池の周りは水芭蕉が群生していて素晴らしいフィナーレとなった。

コースタイム：

酸ヶ湯温泉７：２０～仙人岱付近９：１０～小岳９：５０・１０：２０～高田大岳１１：３５・１１：５５～谷地温泉１２：５０

地形図：酸ヶ湯、八甲田山

高田大岳山頂にて